

平成19年3月期 第3四半期の財務・業績について

当第3四半期の財務・業績に対し、当行社長のポルテは以下のとおりコメントしております。

「当行は、消費者金融業界を取り巻く環境の大きな変化に対して、迅速かつ断固とした姿勢で取り組み、保守的な引当を実施すると共に、来期以降の当該ビジネスの実効性・収益性を高めるための経営変革を加速させるなどの対策を講じました。この結果、当第3四半期の財務・業績は、大きな影響を受けました。」

業務粗利益は前第3四半期比6.0%増の2,157億円。非金利収入比率は65.7%(前第3四半期70.3%)

実質業務純益は前第3四半期比1.1%増の1,032億円

四半期純利益は、前第3四半期比21.0%減の471億円(キャッシュベースでは同比22.8%減の601億円)

経費率は52.1%(前第3四半期49.8%)

総資産・貸出金とも中間期末比増加(+5,560億円、+1,956億円)

リテール預金は引き続き拡大(個人預金3兆5,043億円、中間期末比+1,404億円)

不良債権比率(単体)は0.46%に低下(中間期末0.54%)

1. 損益の概況

[連結]

(単位:億円)

平成19年1月16日
 公表通期予想
 (平成19年3月期)

	当第3四半期 (平成18年12月期) <9か月間>	前第3四半期 (平成17年12月期) <9か月間>	(平成18年 10~12月) <3か月間>	(平成17年 10~12月) <3か月間>	中間期 (平成18年9月期) <6か月間>	
業務粗利益*1	2,157	2,035	772	729	1,385	
資金利益	741	605	223	203	517	
その他	1,416	1,430	548	526	868	
経費*1	1,125	1,014	367	347	757	
実質業務純益*1	1,032	1,020	404	382	628	
不良債権処理額	196	228	144	82	52	
のれん・無形資産償却額(グロス)	154	209	49	62	105	
その他(損失)	209	14	128	17	81	
四半期(当期・中間)純利益	471*2	596	82*2	219	388	400
(参考)キャッシュ調整後ベース(*3) 四半期(中間)純利益	601	779	124	273	476	

(参考)ビジネスライン別損益状況*1[連結]

(単位:億円)

		当第3四半期 (平成18年12月期) <9か月間>	前第3四半期 (平成17年12月期) <9か月間>	中間期 (平成18年9月期) <6か月間>	(参考)前期 (平成18年3月期) <12か月間>
インスティテュー ショナル・ バンキング	業務粗利益	942	857	552	1,167
	経費	331	296	219	396
	実質業務純益	611	561	333	770
	不良債権処理額(取崩)	142	18	172	49
		753	580	505	820
コンシューマ ードコマース ファイナンス	業務粗利益	916	891	607	1,197
	経費	512	451	350	604
	実質業務純益	403	439	257	593
	不良債権処理額	315	234	201	346
		88	204	55	246
リテール・ バンキング	業務粗利益	273	326	195	424
	経費	285	261	194	348
	実質業務純益	11	65	1	76
	不良債権処理額	0	2	0	4
		12	62	0	72

*1~上記の区分表記は経営管理上のものであり、基本的に単体(経営健全化計画ベース)と同様の基準で作成しております。

2~消費者金融ビジネスにおける一時的なコスト()を除く当第3四半期純利益は、前第3四半期比8.1%増の645億円であります。

(*) ㈱アプラスの利息返還損失引当金関連費用112億円<貸倒引当金繰入額13億円、その他損失99億円>、シンキ㈱の持分法投資損失60億円
 なお、平成18年10~12月<3か月間>における㈱アプラスの利息返還損失引当金関連費用は90億円<貸倒引当金繰入額4億円、その他損失85億円>

*3~当第3四半期分及び中間期分は、四半期(中間)純利益からのれんに係る償却額及び無形資産償却とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたものであります。なお前第3四半期分は、㈱アプラス・昭利リース㈱の連結に関するものに限定しております。

平成19年3月期第3四半期(当第3四半期)及び平成18年3月期第3四半期(前第3四半期)の財務・業績の概況に関する上記の記載数値につきましては、公認会計士及び監査法人による監査を受けておりません。

2. 1株当たり数値[連結]

	当第3四半期 (平成18年12月期) <9ヵ月間>	前第3四半期 (平成17年12月期) <9ヵ月間>	中間期 (平成18年9月期) <6ヵ月間>	(参考)前期 (平成18年3月期) <12ヵ月間>
1株当たり四半期(当期)純利益	33 円 24 銭	42 円 51 銭	27 円 19 銭	53 円 16 銭
同キャッシュベース	42 64	55 94	33 55	72 16
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	24 29	29 61	19 54	37 75
同キャッシュベース	30 98	38 67	23 96	50 55
1株当たり純資産*	390 37	369 84	383 20	380 20
潜在株式調整後1株当たり純資産*	416 47	413 81	411 58	421 62

*~純資産額につきましては、期末純資産の部合計から、期末新株予約権及び期末少数株主持分を控除して計算しております。

3. ROA、ROE[連結]

	当第3四半期 (平成18年12月期) <9ヵ月間>	前第3四半期 (平成17年12月期) <9ヵ月間>	中間期 (平成18年9月期) <6ヵ月間>	(参考)前期 (平成18年3月期) <12ヵ月間>
ROA*1				
四半期(当期・中間)純利益 ¹ ÷ス	0.6	0.9	0.8	0.8
同キャッシュベース	0.8	1.2	1.0	1.2
ROE*2				
四半期(当期・中間)純利益 ¹ ÷ス	11.5	16.1	14.3	14.9
同キャッシュベース	14.8	21.2	17.7	20.3
潜在株式調整後ROE*3				
四半期(当期・中間)純利益 ¹ ÷ス	7.8	9.7	9.7	9.3
同キャッシュベース	9.9	12.7	11.9	12.4
修正ROE*4				
キャッシュベース四半期(当期・中間)純利益	14.7	19.3	17.7	18.8

*1~(期首総資産+期末総資産)/2を計算上、分母として用いております。なおキャッシュベース四半期(当期・中間)純利益を用いて算出する際の分母は、のれん及び無形資産を除いた総資産の期首・期末平均であります。

*2~算式：
$$\frac{\text{四半期} \times [\text{当期} \cdot \text{中間}] \text{純利益} - \text{期末優先株式配当額}}{(\text{期首の普通株式に係る純資産額} + \text{期末の普通株式に係る純資産額}) / 2}$$
 *~日割り年換算

*3~算式：
$$\frac{\text{四半期} \times [\text{当期} \cdot \text{中間}] \text{純利益}}{\{(\text{期首純資産の部合計} - \text{期首新株予約権} - \text{期首少数株主持分}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{期末新株予約権} - \text{期末少数株主持分})\} / 2}$$

*4~算式：
$$\frac{\text{キャッシュベース四半期} \times [\text{当期} \cdot \text{中間}] \text{純利益}}{\{(\text{期首純資産の部合計} - \text{期首新株予約権} - \text{期首少数株主持分}) - \text{期首のれん} - \text{期首無形資産} \times (1 - \text{実効税率})\} + \{(\text{期末純資産の部合計} - \text{期末新株予約権} - \text{期末少数株主持分}) - \text{期末のれん} - \text{期末無形資産} \times (1 - \text{実効税率})\} / 2}$$

(分子)中間(当期)純利益から、のれんに係る償却額及び無形資産償却とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたもの。

なお前第3四半期及び前期は、(株)アプラス・昭和リース(株)の連結に関するものに限定しております。

(分母)純資産の部合計から、新株予約権、少数株主持分、のれん及び無形資産とそれに伴う繰延税金負債を除いたものの期首・期末平均。

4. 財務状況[連結]

(単位:億円)

	当第3四半期末 (平成18年12月末) (A)	中間期末 (平成18年9月末) (B)	比較 (A)-(B)	(参考)前期末 (平成18年3月末) (C)	比較 (A)-(C)
資産の部	109,896	104,336	5,560	94,050	15,846
金銭の信託	4,946	5,065	119	4,561	385
有価証券	18,800	17,717	1,083	14,944	3,856
貸出金	49,770	47,814	1,956	40,875	8,895
リース・割賦売掛金*1	8,282	8,354	72	8,250	32
無形資産*2	620	638	18	681	61
のれん*2	2,162	2,194	32	2,266	104
支払承諾見返	7,738	7,894	156	8,134	396
負債の部	99,658	94,229	5,429	82,878	16,780
預金・譲渡性預金	50,592	49,457	1,135	40,717	9,875
債券・社債	11,126	10,595	531	13,169	2,043
純資産の部*3	10,238	10,107	131	8,553	1,685

*1~「リ・ス」は、(四半期・中間)連結貸借対照表の「有形固定資産」及び「無形固定資産」に、「割賦売掛金」は、(四半期・中間)連結貸借対照表の「その他資産」に、それぞれ含まれております。

*2~「無形固定資産」に含まれております。

*3~前期末(平成18年3月末)の数値は、「資本の部」の数値を記載しております。

5. 金融再生法開示債権[単体]

(単位:億円、%)

	当第3四半期末 (平成18年12月末) (A)	中間期末 (平成18年9月末) (B)	比較 (A)-(B)	(参考)前期末 (平成18年3月末) (C)	比較 (A)-(C)
開示不良債権	227	260	33	425	198
総与信残高(末残)	49,744	48,065	1,679	41,290	8,453
総与信残高比 /	0.46	0.54	0.08	1.03	0.57

【参考】株式会社アプラス(連結子会社) 主要計数

(参考データ)

(億円)

連結損益	2006年度第3四半期 (2006/4/1 ~ 2006/12/31、9ヵ月)	2005年度 (2005/4/1 ~ 2005/12/31、9ヵ月)	2006年度 中間期(6ヵ月)	2006年3月期 (6ヵ月決算)
	営業収益	849	734	573
総合あっせん	65	47	42	34
個品あっせん	150	100	102	68
信用保証	203	229	138	146
融資	351	290	239	213
消費者金融	349	287	237	211
カードキャッシング	159	122	105	103
ローンカード	164	147	115	95
その他消費者金融	25	17	16	12
その他融資	1	2	1	1
金融収益	17	14	10	10
その他	61	51	40	44
営業費用	891	640	539	435
販売費及び一般管理費	850	603	513	413
貸倒引当金繰入額	280	196	175	130
その他	570	406	337	282
金融費用	40	37	25	22
営業利益	(42)	93	34	81
経常利益	(42)	95	35	81
特別損益	(14)	17	(14)	(13)
税引前当期(中間)純利益	(56)	112	21	68
当期(中間)純利益	(73)	130	5	83

(億円)

連結財務、営業債権、その他	2006年12月末	2005年12月末	2006年9月末	2006年3月末
総資産	16,011	14,971	16,082	15,931
総負債	15,378	14,233	15,342	15,161
純資産	632	737	740	769
営業債権残高(連結)	13,148		13,291	13,150
割賦売掛金	6,033		6,047	5,687
総合あっせん	440		394	369
個品あっせん	2,908		2,968	2,538
融資	2,683		2,682	2,777
消費者金融	2,527		2,533	2,340
カードキャッシング	673		700	663
ローンカード	1,335		1,337	1,319
その他消費者金融	518		495	357
その他融資	156		149	436
その他	1		1	1
信用保証割賦売掛金	7,114		7,243	7,463
加盟店数(千店、連結)			897	648
有効カード会員数(千人、単体)			7,359	6,841
カード新規獲得枚数(千枚、単体)			905	891
貸付金利別残高(億円、単体)*			2,043	
~15.0%			9	
~18.0%			329	
~20.0%			152	
~25.0%			527	
~29.2%			1,024	
うち、クレジットカードキャッシング			757	
うち、ローンカード			1,285	
1口座あたり残高(千円、単体)			371	
クレジットカードキャッシング			242	
ローンカード			541	

* アプラス単体におけるカードキャッシング、ローンカードの残高(2006年9月末、1,772億円)を管理上の営業債権ベースで示したものの。

グレーゾーン関連

2006年度第3四半期(2006/4/1~2006/12/31、9ヶ月)において、利息返還損失引当金関連費用112億円を計上。
(2006年12月末の利息返還損失引当金は108億円)

【参考】シンキ株式会社（持分法適用会社）主要計数

(参考データ)

(億円)

単体損益関連	2006年度第3四半期 (2006/4/1 ~ 2006/12/31、9ヶ月)	2005年度第3四半期 (2005/4/1 ~ 2005/12/31、9ヶ月)	2006年度 中間期	2005年度
営業収益	340	381	230	505
うち、貸付金利息	184	209	125	279
うち、信託受益権分配金	147	161	98	211
その他	8	10	6	13
営業費用	357	307	222	437
金融費用	12	15	8	19
その他営業費用	344	291	214	417
貸倒引当金繰入額・償却関連費用	211	132	123	200
その他	133	159	90	217
営業利益	(16)	73	7	67
経常利益	(14)	75	8	68
特別損益	(133)	2	(133)	2
税引前当期(中間)純利益	(148)	77	(124)	70
当期(中間)純利益	(171)	44	(154)	41

(億円)

単体財務、貸付金残高、その他	2006年12月末	2005年12月末	2006年9月末	2006年3月末
総資産	1,619	1,932	1,719	1,897
総負債	1,119	1,243	1,201	1,211
純資産	499	688	518	685
貸付金残高 ⁽¹⁾	1,816	2,057	1,875	1,994
消費者向け	1,280	1,414	1,300	1,368
無担保ローン	1,272	1,409	1,296	1,363
有担保ローン	7	5	4	4
事業者向け	536	643	575	626
証書貸付	4	8	4	6
ノーローンビジネス	531	632	569	618
有担保貸付	0	2	0	1
店舗数(店)	572	597	572	610
加重平均約定金利(%)	27.06	27.20	27.18	26.60
消費者向け	27.42	27.58	27.59	26.91
無担保ローン	27.50	27.64	27.65	26.97
有担保ローン	14.27	11.31	11.07	11.15
事業者向け	26.19	26.37	26.24	25.93
証書貸付	21.50	22.12	21.29	21.26
ノーローンビジネス	26.25	26.49	26.30	26.02
有担保貸付	11.33	9.54	11.54	9.68
加重平均借入金利(%)				
期中加重平均	1.65	1.87	1.64	1.82
期末加重平均	1.68	1.67	1.68	1.63

(1) 信託譲渡した営業貸付金を含み、固定化営業債権を除く

グレーゾーン関連:

2006年度第3四半期(9ヶ月)において、シンキ単体で利息返還損失引当金関連費用181億円(営業費用に67億円、特別損失に114億円)を計上。なお、2006年12月末の利息返還損失関連の引当金(含む貸倒引当金)は188億円。